

申請案件およびバリデーション審査結果等の概要

気候変動対策認証センター
バリデーションチーム

今回のオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会において審議対象となっている申請案件、認証センターにより行った審査結果ならびに当プロジェクトに対するパブリックコメントの概要は以下の通りである。

1. 継続審議案件

①高知県仁淀川町池川木材工業有限会社における間伐材由来木質バイオマス残渣の熱利用事業

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	高知県仁淀川町池川木材工業有限会社における間伐材由来木質バイオマス残渣の熱利用事業
申請受理日	2009年10月29日
プロジェクト代表事業者	GWC合同会社
プロジェクト事業者	池川木材工業有限会社
プロジェクト参加者	なし
オフセット・クレジット（J-VER）取得予定者	GWC合同会社
プロジェクト概要	<p>本プロジェクトの目的は、製造工程における木材乾燥に用いる乾燥機を、A重油燃料のものから、木質バイオマス（樹皮）燃料のものへと転換することにより、CO2削減を実施することである。</p> <p>池川木材工業有限会社石神第三工場では、製材工程での木材乾燥において、A重油焚き乾燥機を使用していた。本プロジェクトでは、新たに石神第三工場近隣の見ノ越第二工場において木質バイオマスボイラーを導入し、A重油焚き乾燥機の代替とした（乾燥工程を石神第三工場から見ノ越第二工場に移した）。</p> <p>新たに導入した木質バイオマスボイラーでは、石神第三工場</p>

		<p>における製材工程で発生し、従来は焼却および廃棄処分されていた樹皮（バーク）を燃料として有効活用している。</p> <p>また見ノ越第二工場での製材工程で発生していた樹皮・おが粉・鋸屑・木屑も焼却処分されていたが、これも少量ではあるが木質バイオマスボイラーの燃料として有効活用されている。</p>					
プロジェクト期間		2006年8月1日～2014年7月1日					
クレジット期間		2008年4月1日～2013年3月31日					
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	620	620	620	620	620	3,100
ポジティブリスト		No. E. 001					
方法論		<p>JEAM001</p> <p>化石燃料から未利用の木質バイオマスへのボイラー燃料代替</p>					

(2) 審査結果

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論 JEAM001 の適用は実施規則及びポジティブリストNo.E001 に準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
排出量・吸収量算定 (I・II)	モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量算定は、方法論 JEAM001 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。なお、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。

<p>モニタリング計画 (Ⅲ～Ⅵ)</p>	<p>ニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論 JEAM001 及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>その他の論点</p>	<p>現地における実査を踏まえていないものの、申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリスト No. 001 の適格性基準を満たし、方法論 JAM001 に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、ルールへの準拠していることが確認された。</p> <p>現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット (J-VER) 認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>

2. 新規申請案件

①松阪森林吸収プロジェクト

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	松阪森林吸収プロジェクト						
申請受理日	2009年12月10日						
プロジェクト代表事業者	国分株式会社						
プロジェクト事業者	国分ホールディングス株式会社						
プロジェクト参加者	松阪飯南森林組合 国分勘兵衛						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	国分株式会社						
プロジェクト概要	J-VER による収益を利用し、間伐を行い里山を整備し、生物多様性にも配慮した自然環境を取り戻すことを目的とする。また、J-VER 制度を活用し、企業としてCSRの見地からも森林経営を見直す契機とする。 具体的には、国分株式会社等が保有する山林約 200ha のうち、間伐が実施されてこなかった約 53ha を対象とした間伐を実施し、CO2 吸収量の増加を達成する。						
プロジェクト期間	2009年 4月 1日 ~2013年 3月 31日						
クレジット期間	2009年 4月 1日 ~2013年 3月 31日						
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	-	2	125	242	254	638
ポジティブリスト	No. R. 001						
方法論	JRAM001 森林経営活動による CO2 吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト) に関する方法論						

(2) 審査結果

審査内容	バリデーションチームの審査結果
プロジェクト情報 (A・B)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書におけるプロジェクト情報が重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。
適格性要件 (C)	申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトの申請書における方法論の適用は実施規則及びポジティブリストに準拠しており、適格性要件を満たしていることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重

	<p>要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>排出量・吸収量算定 (I・II)</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおける排出量・吸収量算定は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。現地における実査を踏まえていないため、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。施業年と吸収算定年につき、J-VER 制度モニタリングガイドライン I-7 の考え方に沿った算式を採用しており、妥当と判断される。また、プロジェクト吸収量の算定にあたっては、モニタリングガイドライン準拠しており妥当と判断される。</p>
<p>モニタリング計画 (III～VI)</p>	<p>モニタリングプラン、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行った結果、当プロジェクトのモニタリングプランにおけるモニタリング計画は、方法論及びモニタリング方法ガイドラインに準拠していることを確認した。純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動、吸収量算定式、面積の測定、拡大係数、幹材積、容積密度、地上部に対する地下部の比率、地位級の選定、モニタリング体制・フロー、QA/QC について妥当であると判断される。それ以外の点については、現地における実査を踏まえていないものの、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲によって、重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>その他の論点</p>	<p>現地における実査を踏まえていないものの、申請書、証拠書類等を文書上で確認し、関係者に電話によるインタビューを行い、関連する許認可及び関連法令等の遵守状況、環境影響評価及び環境測定、住民説明会の実施状況を確認した結果、デスクレビュー及びインタビューによって判明した範囲において、当プロジェクトの申請書におけるその他事項において重要性の点から適正に表示されており、オフセット・クレジット (J-VER) 制度に依拠して作成されていることを確認した。</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たし、方法論に照らした算定式が設定されており、適格性基準に整合</p>

	<p>していることが確認された。また、排出削減・吸収量の計算方法、モニタリング方法等については、ルールへ準拠していることが確認され、当制度における重要性基準としての吸収量の10%以内という水準を確保していることを確認した。デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による登録を行うことを推奨する。</p>
--	--

3. 修正審議案件

①高知県木質資源エネルギー活用事業 B

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	高知県木質資源エネルギー活用事業 B						
申請受理日	2008年12月3日						
登録日	2009年12月19日						
プロジェクト代表事業者	高知県						
プロジェクト事業者	住友大阪セメント株式会社 高知工場						
プロジェクト参加者	須崎地区森林組合						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	高知県						
プロジェクト概要	<p>当プロジェクトでは、未利用林地残材を化石燃料の燃料代替として活用することで得られるCO2の削減量をオフセットクレジット (J-VER) にすることで当該プロジェクト活動の実現が可能となる。</p> <p>その結果として、森林整備が加速され、森林資源の循環による新たな雇用の創出や、林業活性化が推進される。</p>						
プロジェクト開始年月日	2007年10月1日						
クレジット期間	2008年4月1日 ~2013年3月31日						
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	2,154	3,231	未定	未定	未定	未定
ポジティブリスト	No. 0001						
方法論	JEAM0001 化石燃料から未利用林地残材へのボイラー燃料代替に関する方法論						

(2) 修正内容 詳細別紙参照

修正申請日	2010年1月22日
修正文書/理由	修正文書： オフセット・クレジット (J-VER) 制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト申請書別紙モニタリングプラン 高知県木質資源エネルギー活用事業B Ver. 1.3 修正理由：

	<p>このプロジェクトで化石燃料の燃料代替として活用されている未利用林地残材は、生の枝葉、根株類を破砕し、乾燥させずに木質バイオマス燃料として利用されています。この未利用林地残材の含水率のモニタリング方法については、対応する JIS 規格がなかったことから石炭、オイルコークスの測定に使用される JIS M8814 に準拠することとしていました。しかし JIS 規格に準拠させた測定方法では信頼性のある含水率測定は困難であるという判断から、未利用林地残材の形状、特性を考慮した含水率の分析を行ってきました。しかし分析に用いる試料量及び乾燥温度並びに乾燥時間について、一部 JIS と異なる手順であったため、未利用林地残材の特性を考慮しつつ JIS M8812、JIS M8814、JIS Z7302-3、JIS Z7302-1 を参考にして、最も正確な含水率測定方法を指示書として作成するとともに、モニタリングプランを変更させていただきました。なお、これまで実施してきた未利用林地残材の形状、特性を考慮した事業者の分析方法とモニタリングプランに記載された JIS の測定方法との比較試験を住友大阪セメント株式会社高知工場及び高知県森林技術センターにおいて行い、両試験方法で同等の結果であることを確認しました。また、今後のモニタリング実施に大きく影響する内容であることから、同様の木質バイオマスを活用した排出削減プロジェクトにおいて今回の変更修正をモニタリングガイドラインに反映させていただければ幸いです。</p> <p>修正項目及び作成手順書：</p> <p>オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクトにおける未利用林地残材のサンプリング、含水率測定手順書に基づき測定（手順書はVI備考に記載）</p> <p>オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクトにおける未利用林地残材のサンプリング、含水率測定手順書</p>
プロジェクト進捗状況	2009年1月20日 検証報告書発行済 第10回認証運営委員会 認証審議予定
認証運営委員会への推奨	オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプ

資料 2

ロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たしていることが確認された。デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による修正登録を行うことを推奨する。

②長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト						
申請受理日	2009年10月29日						
登録日	2009年12月3日						
プロジェクト代表事業者	特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所						
プロジェクト事業者	長野県産木質ペレットを利用する家庭・団体・事業者等						
プロジェクト参加者	長野県 上伊那森林組合						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所						
プロジェクト概要	長野県産の木質ペレットをストーブ燃料として利用し、化石燃料を代替することにより二酸化炭素の排出削減を図り、それにより創出されるクレジットへの企業からの資金提供を、木質ペレットの利用者に還元する仕組みを構築し、未利用の間伐材等の森林資源の有効活用と地球温暖化防止策に資する森林整備を推進するとともに、民生部門での地球温暖化対策への理解を深めることを目的とする。						
プロジェクト期間	2002年 3月 1日 ～2013年3月31日						
クレジット期間	2008年 4月 1日 ～ 2013年 3月 31日						
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO ₂	99 ⇒98	99 ⇒98	99 ⇒98	99 ⇒98	99 ⇒98	495 ⇒490
ポジティブリスト	No. E. 003						
方法論	JEAM003 木質ペレットストーブの使用						

(2) 修正内容 詳細別紙参照

修正申請日	2010年1月29日
修正文書／理由	修正文書:長野県木質ペレットストーブの使用による J-VER プロジェクト モニタリングプラン及び申請書 修正理由:ペレット燃料の製造時に、フォークリフトを用いて原木及びおが粉を工場内で運搬することが明らかになったため

プロジェクト進捗状況	2009年12月3日登録済み 検証中
認証運営委員会への推奨	<p>オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たしていることが確認された。</p> <p>デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による修正登録を行うことを推奨する。</p>

③高知県森林吸収量取引プロジェクト

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	高知県森林吸収量取引プロジェクト						
申請受理日	2008年5月14日						
登録日	2009年7月1日						
プロジェクト代表事業者	高知県						
プロジェクト事業者	株式会社 とされいほく 土佐建興・竹村総合共同企業体 (有)土佐建興・(有)竹村総合建設)						
プロジェクト参加者	須崎地区森林組合						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	高知県						
プロジェクト概要	<p>本事業では、採算性のとれない放置森林の整備を加速化させ、CO₂ の吸収量を増大させることを目的としています。</p> <p>合わせて、増大した森林整備によるCO₂ 吸収量を将来的に金銭価値化(クレジット化)させ、森林整備にかかる費用の一部を賄うことで、森林整備及び木材搬出のためのコスト負担を軽減し、間伐を促進し、森林の整備や林業の担い手の育成・確保など、森林を取巻く林業の再生を図る目的も持ち合わせています。</p>						
プロジェクト開始年月日	2008年 4月 1日						
クレジット期間	2008年 4月 1日 ～2013年 3月31日						
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO ₂	340⇒ 0	812⇒ 472	1,039⇒ 699	1,382⇒ 1,042	1,526⇒ 1,186	5,099 ⇒ 3,399
ポジティブリスト	No. 0002-1(現 R001)						
方法論	JAM 0002-1 (現 JRAM001) 森林経営活動によるCO ₂ 吸収量の増大(間伐促進型促進型プロジェクト)に関する方法論						

(2) 修正内容 詳細別紙参照

変更修正日	2010年1月29日
-------	------------

<p>修正文書/理由</p>	<p>1 対象森林の減少に伴う面積の減少 制度対象森林の間伐実施の開始年度が、2007年4月以降となっているが、森林整備実施場所に、過年度実施分が混在しており、これを明確化することが困難なため、管理上品質保証が担保できないと判断させていただき除外した。</p> <p>2 面積の減少に伴うモニタリングポイントの減少 対象森林が減少することによりモニタリングポイントが減少した。</p> <p>3 地位級のパラメータである平均樹高のモニタリングポイントの減少 2に伴うモニタリングポイントの修正箇所について、必要な標準地(モニタリングポイント)設置の認識に誤りがあったため、申請書作成支援を受けて変更した。</p> <p>4 面積減少に伴う想定森林吸収量の減少 面積が減少したことにより間伐施業面積が減少し、想定森林吸収量が減少した</p>
<p>修正内容</p>	<p>1 対象森林の減少に伴う面積の減少 修正前 全体 250.69ha/修正後 全体 196.63ha</p> <p>2 面積の減少に伴うモニタリングポイントの減少 修正前 合計 94 か所/修正後 合計 67 か所</p> <p>3 地位級のパラメータである平均樹高のモニタリングポイントの減少 修正前 合計 67 か所/修正後 合計 16 か所</p> <p>4 面積減少に伴う想定森林吸収量の減少 修正前 プロジェクト期間内 5,099t-co₂/修正後 プロジェクト期間内 3,399t-co₂</p>
<p>プロジェクト進捗状況</p>	<p>2008年7月1日登録済み 検証前</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>オフセット・クレジット (J-VER) 制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たしていることが確認された。</p> <p>また、モニタリング方法等については、ルールに準拠していることが確認され、当制度における重要性基準としての吸収量の10%以内という水準を確保していることを確認した。デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範</p>

資料 2

	<p>圃において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による修正登録を行うことを推奨する。</p>
--	--

4. 修正報告案件

①森の町内会（間伐サポーター企業群と岩手県岩泉町・葛巻町の連携による間伐促進プロジェクト）

(1) プロジェクトの概要

プロジェクト名	森の町内会（間伐サポーター企業群と岩手県岩泉町・葛巻町の連携による間伐促進プロジェクト）						
申請受理日	2008年10月29日						
登録日	2009年12月3日						
プロジェクト代表事業者	環境NPOオフィス町内会						
プロジェクト事業者	岩泉町 葛巻町森林組合						
プロジェクト参加者	葛巻町 岩泉町森林組合 株式会社エコノス						
オフセット・クレジット (J-VER) 取得予定者	株式会社エコノス						
プロジェクト概要	「間伐サポーター企業」から、間伐効果の「見える化」が期待されてきた。本プロジェクトは、こうした要請に応えるものであり、「森の町内会」活動を通じて、間伐サポーター企業群との連携により、更なる森林整備を進め「森を元気にする」とともに、温室効果ガスの吸収量の増大を図ることを目的としている						
プロジェクト期間	2008年4月1日～2013年3月31日（5年0ヶ月）						
クレジット期間	2008年4月1日～2013年3月31日						
想定排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	160	353	421	515	516	1,967
ポジティブリスト	No. R001						
方法論	JRAM001 森林経営活動によるCO2 吸収量増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論						

(2) 修正内容 詳細別紙参照

変更修正日	2010年1月26日
-------	------------

<p>修正文書／理由</p>	<p>修正文書： オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト申請書別紙モニタリングプラン</p> <p>修正理由： モニタリング体制図及びQC/QAについて、本プロジェクト事業内で統一化をはかるため再整理を行うとともに、現実的かつ信頼性の向上につながる見直しを行ったため。</p>
<p>修正内容</p>	<p><u>モニタリング体制図</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト事業内で統一化をはかるため再整理を行った。そのうえで、管理責任者（環境NPOオフィス町内会）及び各サイト（岩泉町・葛巻町森林組合）において業務を行う部門若しくは個人を特定できるよう体制表を追加した。 ・内部監査を各サイト（岩泉町・葛巻町森林組合）にて実施する計画にあったが、管理責任者（環境NPOオフィス町内会）にて実施する体制に変更した。 <p><u>品質保証（QA）及び品質管理（QC）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部監査を各サイト（岩泉町・葛巻町森林組合）にて実施する計画にあったが、管理責任者（環境NPOオフィス町内会）にて実施する体制に変更した。 ・各サイト（岩泉町・葛巻町森林組合）におけるQA/QCについて、本プロジェクト事業内で統一化をはかるため再整理を行った。
<p>プロジェクト進捗状況</p>	<p>2009年12月3日登録済み 検証前</p>
<p>認証運営委員会への推奨</p>	<p>オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則に基づいて実施された当バリデーションの範囲で、バリデーションプロセス及び手順を進めた結果、本プロジェクトは、ポジティブリストの適格性基準を満たしていることが確認された。</p> <p>デスクレビュー及びインタビューにおいて判明した範囲において、本プロジェクトが、オフセット・クレジット（J-VER）制度に依拠して作成されていることを確認し、本プロジェクトに対しオフセット・クレジット（J-VER）認証運営委員会による修正登録を行う。</p>